

「恋人の聖地」にふさわしい活動、地域と共に

海峡ゆめタワー 観光交流特別賞

花贈る催しなど評価

プロポーズにふさわしいロマンチックなスポットを「恋人の聖地」として選定するNPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市、志垣恭平理事長）が29日、「恋人の聖地 観光交流大賞」の授賞式を東京都港区の青山セントグレース大聖堂で開いた。山口県からは下関市豊前田町の「海峡ゆめタワー」が特別賞の審査員賞に選ばれた。

恋人の聖地のコンセプトに沿った活動実績をこの1年間に挙げた自治体や団体を表彰。4回目の今年は全国224カ所ある聖地の中から71件の応募があった。このうち10件が観光交流賞に選ばれ、この中から最高賞の大賞に熊本県の「ハ

トが出来る石橋」、特別賞に海峡ゆめタワーなど計4件がそれぞれ輝いた。

海峡ゆめタワーは県花卉園芸農業協同組合や下関柑橋組合といった地元団体とそれぞれ連携した「いい夫婦の日」に花を贈ろうキャンペーンやハート形に育った温州ミカン「ひとめぼれ」のPRイベントなどの取り組みが評価された。

授賞式では、タワーを運営する県国際総合センター

の村田常雄理事長が、平昌冬季五輪の金メダリストでスピードスケート選手の高木菜那さん（日本電産サンキョー）から表彰状を受け取った。村田理事長は「オープン20周年（2016年）を契機に地域の団体と連携した取り組みをタワーでも進めてきたので、受賞は大変うれしい。関係者やタワーのスタッフに感謝したい」と話していた。



審査員賞の表彰状を手に喜ぶ県国際総合センターの村田常雄理事長（左）ら=29日、東京都港区